



プロキシの設定

- [プロキシの設定 \(1 ページ\)](#)

プロキシの設定

コネクタ GUIでは、プロキシや他のプライバシー設定も実行できます。コネクタをホストしている Cisco UCS がプロキシの背後にある場合、コネクタを Cisco DNA Spaces に接続するプロキシを設定できます。このプロキシ設定がないと、コネクタは Cisco DNA Spaces と通信できません。

手順の概要

1. コネクタ CLI インターフェイスに SSH 接続します。 **dnasadmin** ユーザがアクセスできる場所にプロキシ証明書ファイルをコピーします。
2. (任意) CLI から **setproxycert** コマンドを実行します。
3. コネクタ GUIに戻り、[set up HTTP Proxy] をクリックします。表示されるダイアログボックスにプロキシアドレスを入力します。

手順の詳細

ステップ 1 コネクタ CLI インターフェイスに SSH 接続します。 **dnasadmin** ユーザがアクセスできる場所にプロキシ証明書ファイルをコピーします。

```
Username:~ username$ scp ~/Downloads/cert.pem dnasadmin@x.x.x.x
Username:~ username$ ssh dnasadmin@x.x.x.x
dnasadmin@x.x.x.x's password:
Last failed login: Mon Oct 22 23:54:08 UTC 2018 from x.x.x.x on ssh:notty
There were 4 failed login attempts since the last successful login.
Last login: Mon Oct 22 22:43:17 2018 from x.x.x.x
```

ステップ 2 (任意) CLI から **setproxycert** コマンドを実行します。

```
[dnasadmin@connector ~]$ connectorctl setproxycert cert.pem
New cert exists.
Restarting connector container ...
Connector container was restarted.
setProxyCert successful.
```

ステップ 3 コネクタ GUIに戻り、[set up HTTP Proxy] をクリックします。表示されるダイアログボックスにプロキシアドレスを入力します。

図 1: プロキシの設定

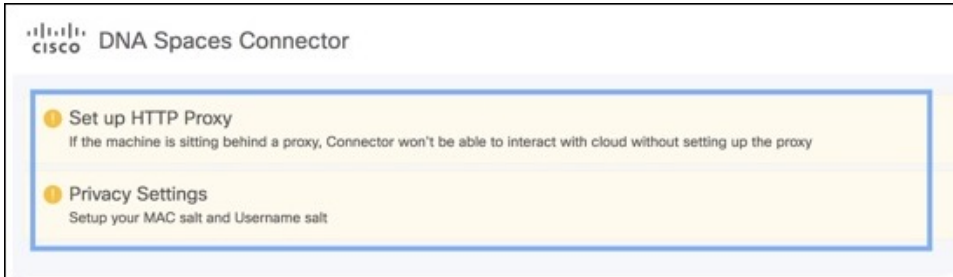
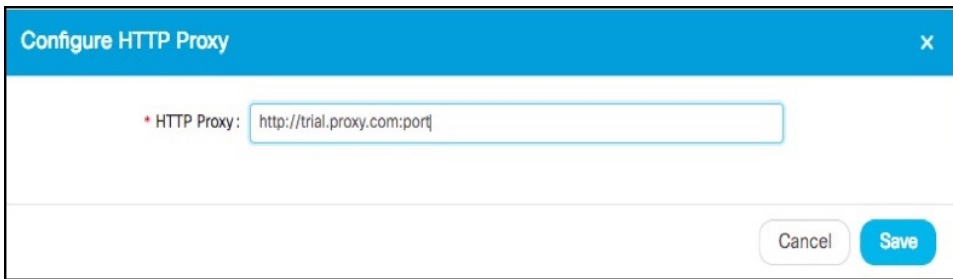


図 2: プロキシの設定



基本認証クレデンシャルを含むプロキシを設定することもできます。

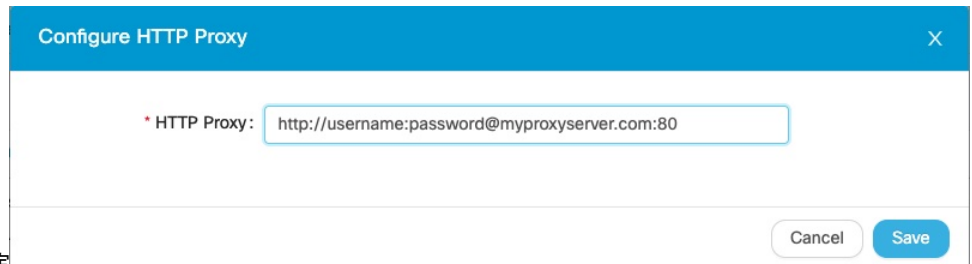
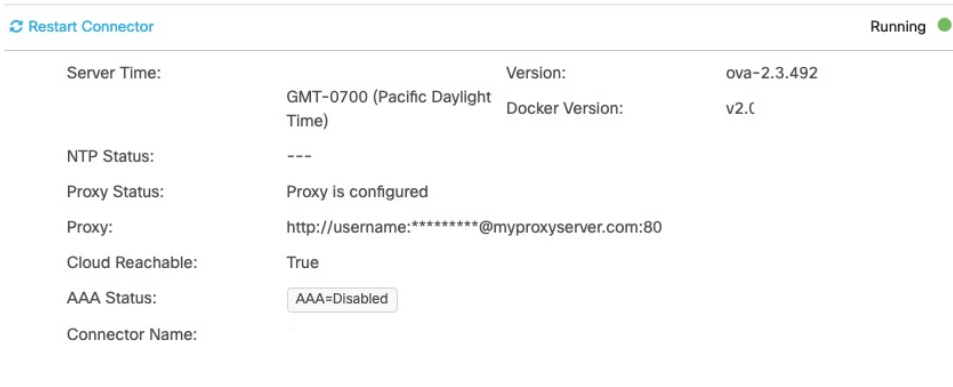


図 3: 基本認証によるプロキシの設定

図 4: 基本認証によって設定されたプロキシ



プロキシ設定のトラブルシューティング

手順の概要

1. コネクタ CLI インターフェイスに SSH 接続し、プロキシサーバの IP アドレスを ping します。
2. `curl` : (60) ピアの証明書発行者がユーザによって信頼できないとマークされているなどの証明書エラーが発生した場合は、次の手順を実行してプロキシサーバ証明書をコネクタに追加します。
3. 前の手順で問題が解決しない場合は、プロキシの許可リストに **dnaspaces.io** ドメインを含めて、HTTPS 復号から除外する必要があります (プロキシで有効になっている場合)。

手順の詳細

ステップ 1 コネクタ CLI インターフェイスに SSH 接続し、プロキシサーバの IP アドレスを ping します。

ステップ 2 `curl` : (60) ピアの証明書発行者がユーザによって信頼できないとマークされているなどの証明書エラーが発生した場合は、次の手順を実行してプロキシサーバ証明書をコネクタに追加します。

- a) プロキシで使用される証明書を取得し、Cisco DNA Spaces : コネクタ にコピーします。
- b) **connectorctl setproxycert** コマンドを実行し、出力を確認します。

```
[dnasadmin@dnasadmin ~]$ connectorctl setproxycert squid.pem

New cert exists.
Starting connector container ...
Current version in database: latest
Container: [<Container: adlbledc71>]
Running connector version: latest
setproxycert successful.
```

(注) 透過的プロキシを使用している場合や、GUI を使用してプロキシを設定していない場合、このコマンドは失敗する可能性があります。このコマンドによって、証明書が正しく設定されているかどうかを確認できます。

- c) コネクタ でトークンを再設定します。

ステップ 3 前の手順で問題が解決しない場合は、プロキシの許可リストに **dnaspaces.io** ドメインを含めて、HTTPS 復号から除外する必要があります (プロキシで有効になっている場合)。

(注) **dnaspaces.io** ドメインで HTTPS 復号を実行しようとする、Websocket 接続が干渉を受けたり、完全に阻害されたりする可能性があります。

